【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 有価証券届出書の訂正届出書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長　殿 |
| 【提出日】 | 2019年3月22日提出 |
| 【発行者名】 | 明治安田アセットマネジメント株式会社 |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長　　大崎　能正 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区虎ノ門三丁目４番７号 |
| 【事務連絡者氏名】 | 植村　吉二<br>連絡場所　東京都港区虎ノ門三丁目４番７号 |
| 【電話番号】 | 03-6731-4721 |
| 【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 | 明治安田クオリティ日本株オープン |
| 【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】 | ①当初申込期間（2018年6月11日～2018年6月25日）<br>上限　1,000億円<br>②継続申込期間（2018年6月26日～2019年9月4日）<br>上限　5,000億円 |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項はありません。 |

**１【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】**

2018年5月25日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について、2019年3月22日に半期報告書を提出したことに伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書により訂正を行うものです。

**２【訂正の内容】**

原届出書の該当情報を以下のとおり訂正または更新します。 ＿＿＿＿の部分は訂正部分を示します

# 第二部【ファンド情報】

## 第１【ファンドの状況】

### １【ファンドの性格】

#### （１）【ファンドの目的及び基本的性格】

＜属性区分表（網掛け表示部分）の定義＞

＜訂正前＞

（注）上記各表のうち網掛け表示のない商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス：http://www.toushin.or.jp/）で閲覧が可能です。

＜訂正後＞

（注）上記各表のうち網掛け表示のない商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス：https://www.toushin.or.jp/）で閲覧が可能です。

#### （２）【ファンドの沿革】

＜訂正前＞

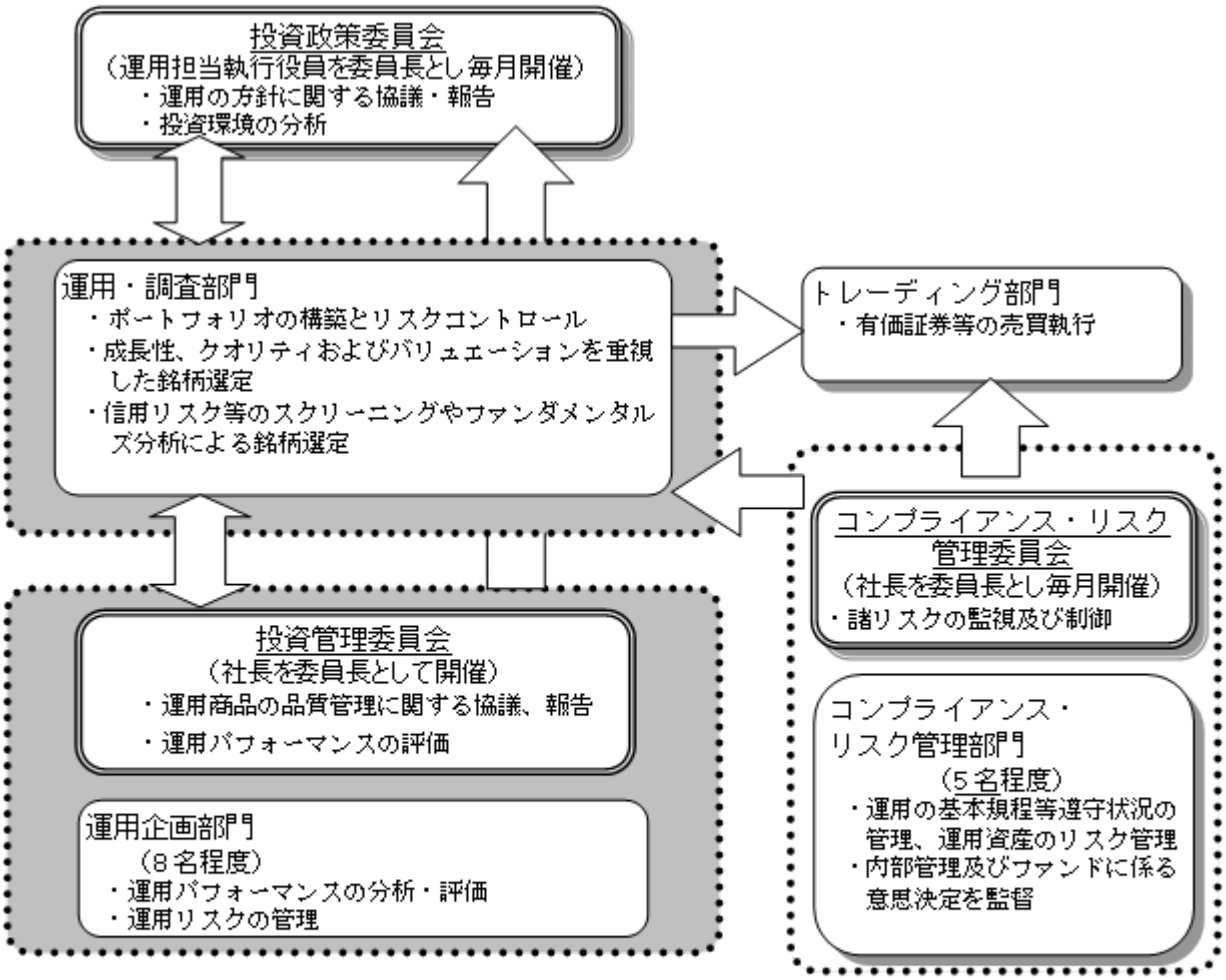
2018年6月26日　　信託契約締結、ファンドの設定、ファンドの運用開始（予定）

＜訂正後＞

2018年6月26日　　信託契約締結、ファンドの設定、ファンドの運用開始

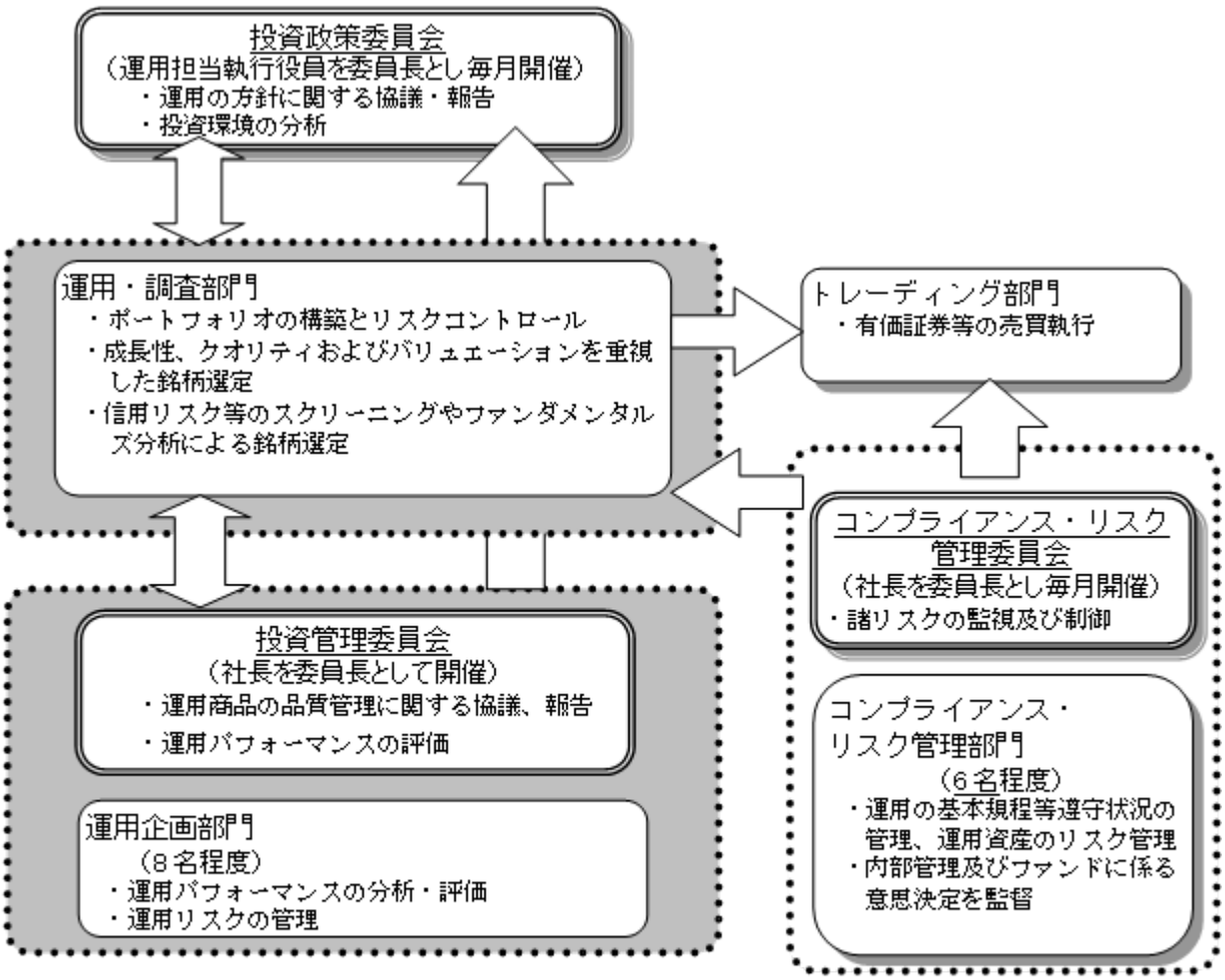
## 2【投資方針】
### （3）【運用体制】

＜訂正前＞




・ファンド運用に関する社内規程として、「投資一任契約および信託財産の運用業務に関する基本規程」及び基本規程に付随する細則等の取扱い基準を設けております。
・ファンドの関係法人に対する管理は、管理関連部門において適正に管理しております。

＜訂正後＞




・ファンド運用に関する社内規程として、「投資一任契約および信託財産の運用業務に関する基本規程」及び基本規程に付随する細則等の取扱い基準を設けております。
・ファンドの関係法人に対する管理は、管理関連部門において適正に管理しております。

## 3【投資リスク】

### （3）参考情報

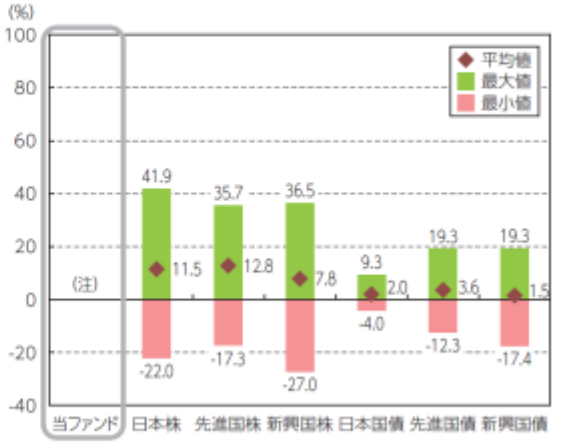
＜更新・訂正後＞

**当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移**

※グラフは、ファンドの5年間の各月末における分配金再投資基準価額（税引前の分配金を再投資したものとして算出。以下同じ。）および各月末における直近1年間の騰落率を表示しています。
※年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
(注)当ファンドは、設定日から1年を経過していないため、設定日以降のデータで表示しています。年間騰落率のデータはありません。

**当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較**

対象期間:2014年2月～2019年1月




※グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ（60個）を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。
※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額（税引前の分配金を再投資したものとして算出）をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※すべての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。
(注)当ファンドは、設定日から1年を経過していないため、年間騰落率のデータがありません。

<各資産クラスの指数について>

| 資産クラス | 指数名称 | 権利者 |
|---|---|---|
| 日本株 | 東証株価指数(TOPIX)(配当込み) | 株式会社東京証券取引所 |
| 先進国株 | MSCI-KOKUSAI(配当込み・円換算ベース) | MSCI Inc. |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円換算ベース) | MSCI Inc. |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) | 野村證券株式会社 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) | FTSE Fixed Income LLC |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース) | J.P.Morgan Securities LLC |

(注)海外指数は、対円での為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。
※各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。
また、各権利者は当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

## 5【運用状況】

原届出書の「第二部ファンド情報、第１ファンドの状況　５運用状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

＜更新・訂正後＞
以下は2019年1月31日現在の運用状況です。
※投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。
※投資比率の合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

### （１）【投資状況】

| 資産の種類 | 国／地域 | 時価合計（円） | 投資比率（%） |
|---|---|---|---|
| 株式 | 日本 | 1,831,714,410 | 98.73 |
| 現金・預金・その他の資産(負債控除後) | ― | 23,631,768 | 1.27 |
| 合計(純資産総額) | | 1,855,346,178 | 100.00 |

### （２）【投資資産】

#### ①【投資有価証券の主要銘柄】

イ.評価額上位銘柄明細

| 順位 | 国／地域 | 種類 | 銘柄名 | 業種 | 数量又は額面総額 | 帳簿価額単価(円) | 帳簿価額金額(円) | 評価額単価(円) | 評価額金額(円) | 投資比率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日本 | 株式 | 日本たばこ産業 | 食料品 | 22,400 | 3,089.14 | 69,196,870 | 2,750.00 | 61,600,000 | 3.32 |
| 2 | 日本 | 株式 | キヤノン | 電気機器 | 18,800 | 3,593.66 | 67,560,812 | 3,114.00 | 58,543,200 | 3.16 |
| 3 | 日本 | 株式 | 積水ハウス | 建設業 | 33,600 | 1,887.87 | 63,432,446 | 1,626.00 | 54,633,600 | 2.94 |
| 4 | 日本 | 株式 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 11,900 | 4,614.38 | 54,911,219 | 4,389.00 | 52,229,100 | 2.82 |
| 5 | 日本 | 株式 | ブリヂストン | ゴム製品 | 12,400 | 4,312.93 | 53,480,372 | 4,188.00 | 51,931,200 | 2.80 |
| 6 | 日本 | 株式 | りそなホールディングス | 銀行業 | 87,400 | 600.49 | 52,482,898 | 549.90 | 48,061,260 | 2.59 |
| 7 | 日本 | 株式 | ＮＴＴドコモ | 情報・通信業 | 18,400 | 2,832.08 | 52,110,395 | 2,605.50 | 47,941,200 | 2.58 |
| 8 | 日本 | 株式 | ローソン | 小売業 | 6,900 | 6,825.86 | 47,098,438 | 6,710.00 | 46,299,000 | 2.50 |
| 9 | 日本 | 株式 | 東京海上ホールディングス | 保険業 | 8,400 | 5,304.17 | 44,555,034 | 5,312.00 | 44,620,800 | 2.40 |
| 10 | 日本 | 株式 | ソニーフィナンシャルホールディングス | 保険業 | 21,100 | 2,185.34 | 46,110,762 | 2,063.00 | 43,529,300 | 2.35 |
| 11 | 日本 | 株式 | セブン銀行 | 銀行業 | 130,800 | 356.26 | 46,600,064 | 324.00 | 42,379,200 | 2.28 |
| 12 | 日本 | 株式 | ＤＣＭホールディングス | 小売業 | 38,000 | 1,040.49 | 39,538,757 | 1,109.00 | 42,142,000 | 2.27 |
| 13 | 日本 | 株式 | イオンフィナンシャルサービス | その他金融業 | 19,300 | 2,308.33 | 44,550,930 | 2,107.00 | 40,665,100 | 2.19 |
| 14 | 日本 | 株式 | 田辺三菱製薬 | 医薬品 | 23,700 | 1,963.98 | 46,546,363 | 1,701.00 | 40,313,700 | 2.17 |
| 15 | 日本 | 株式 | ダイワボウホールディングス | 卸売業 | 6,800 | 5,982.66 | 40,682,112 | 5,830.00 | 39,644,000 | 2.14 |
| 16 | 日本 | 株式 | センコーグループホールディングス | 陸運業 | 44,500 | 879.91 | 39,156,195 | 885.00 | 39,382,500 | 2.12 |
| 17 | 日本 | 株式 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 8,400 | 5,065.37 | 42,549,163 | 4,671.00 | 39,236,400 | 2.11 |
| 18 | 日本 | 株式 | 沢井製薬 | 医薬品 | 7,000 | 5,262.60 | 36,838,205 | 5,600.00 | 39,200,000 | 2.11 |
| 19 | 日本 | 株式 | ケーズホールディングス | 小売業 | 35,900 | 1,198.76 | 43,035,783 | 1,082.00 | 38,843,800 | 2.09 |
| 20 | 日本 | 株式 | 大東建託 | 建設業 | 2,500 | 17,750.93 | 44,377,325 | 15,145.00 | 37,862,500 | 2.04 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 日本 | 株式 | ＫＤＤＩ | 情報・通信業 | 13,700 | 3,026.82 | 41,467,544 | 2,723.00 | 37,305,100 | 2.01 |
| 22 | 日本 | 株式 | 伊藤忠テクノソリューションズ | 情報・通信業 | 16,100 | 2,048.14 | 32,975,060 | 2,262.00 | 36,418,200 | 1.96 |
| 23 | 日本 | 株式 | ほくほくフィナンシャルグループ | 銀行業 | 29,100 | 1,624.20 | 47,264,468 | 1,248.00 | 36,316,800 | 1.96 |
| 24 | 日本 | 株式 | 協和エクシオ | 建設業 | 13,300 | 2,938.54 | 39,082,615 | 2,670.00 | 35,511,000 | 1.91 |
| 25 | 日本 | 株式 | ダイセル | 化学 | 30,900 | 1,214.28 | 37,521,436 | 1,140.00 | 35,226,000 | 1.90 |
| 26 | 日本 | 株式 | 電源開発 | 電気・ガス業 | 12,700 | 2,877.07 | 36,538,843 | 2,717.00 | 34,505,900 | 1.86 |
| 27 | 日本 | 株式 | 日本化薬 | 化学 | 25,100 | 1,269.67 | 31,868,782 | 1,369.00 | 34,361,900 | 1.85 |
| 28 | 日本 | 株式 | パーク２４ | 不動産業 | 13,000 | 3,020.38 | 39,265,025 | 2,593.00 | 33,709,000 | 1.82 |
| 29 | 日本 | 株式 | 科研製薬 | 医薬品 | 6,500 | 5,725.81 | 37,217,821 | 5,130.00 | 33,345,000 | 1.80 |
| 30 | 日本 | 株式 | セブン＆アイ・ホールディングス | 小売業 | 7,000 | 4,731.15 | 33,118,082 | 4,739.00 | 33,173,000 | 1.79 |

**ロ.種類別及び業種別の投資比率**

| 種類 | 国内／外国 | 業種 | 投資比率（%） |
|---|---|---|---|
| 株式 | 国内 | 建設業 | 11.72 |
| | | 食料品 | 3.32 |
| | | 化学 | 5.31 |
| | | 医薬品 | 10.38 |
| | | ゴム製品 | 2.80 |
| | | ガラス・土石製品 | 1.22 |
| | | 金属製品 | 1.37 |
| | | 機械 | 1.43 |
| | | 電気機器 | 6.16 |
| | | 輸送用機器 | 1.57 |
| | | 電気・ガス業 | 4.87 |
| | | 陸運業 | 2.12 |
| | | 情報・通信業 | 10.12 |
| | | 卸売業 | 5.57 |
| | | 小売業 | 8.65 |
| | | 銀行業 | 10.15 |
| | | 保険業 | 4.75 |
| | | その他金融業 | 3.87 |
| | | 不動産業 | 1.82 |
| | | サービス業 | 1.53 |
| 合計 | | | 98.73 |

**②【投資不動産物件】**

該当事項はありません。

**③【その他投資資産の主要なもの】**

該当事項はありません。

## （３）【運用実績】

### ①【純資産の推移】

| 期別 | 純資産総額（円） | | 1万口当たり純資産額（円） | |
|---|---|---|---|---|
| | （分配落） | （分配付） | （分配落） | （分配付） |
| 2018年 6月末日 | 1,025,299,887 | ― | 9,958 | ― |
| 7月末日 | 1,561,863,365 | ― | 10,073 | ― |
| 8月末日 | 1,846,860,621 | ― | 9,818 | ― |
| 9月末日 | 1,956,625,235 | ― | 10,272 | ― |
| 10月末日 | 1,867,635,159 | ― | 9,599 | ― |
| 11月末日 | 1,908,424,535 | ― | 9,573 | ― |
| 12月末日 | 1,749,264,443 | ― | 8,643 | ― |
| 2019年 1月末日 | 1,855,346,178 | ― | 8,981 | ― |

### ②【分配の推移】

該当事項はありません。

### ③【収益率の推移】

| 期 | 計算期間 | 収益率（%） |
|---|---|---|
| 第1期中間計算期間 | 2018年 6月26日～2018年12月25日 | △18.06 |

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

## （４）【設定及び解約の実績】

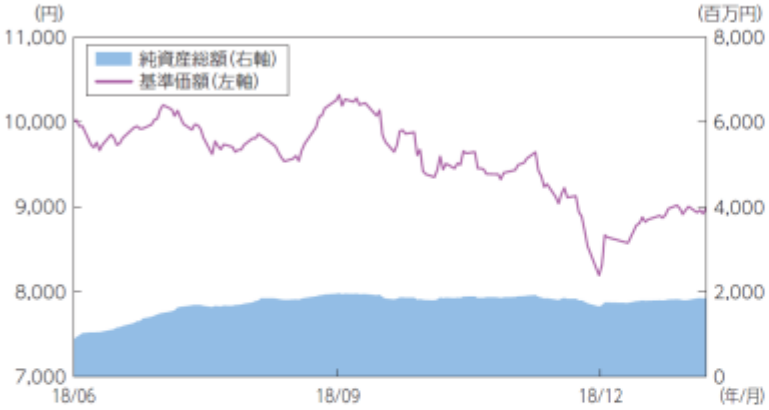
| 期 | 計算期間 | 設定口数（口） | 解約口数（口） |
|---|---|---|---|
| 第1期中間計算期間 | 2018年 6月26日～2018年12月25日 | 2,056,928,462 | 40,977,778 |

(注)第1期中間計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

＜参考情報＞
**以下の事項は交付目論見書の運用実績に記載されているものです。**

2019年1月31日現在

## 基準価額・純資産の推移




※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

## 分配の推移

該当事項はありません。

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 8,981円 |
| 純資産総額 | 1,855百万円 |

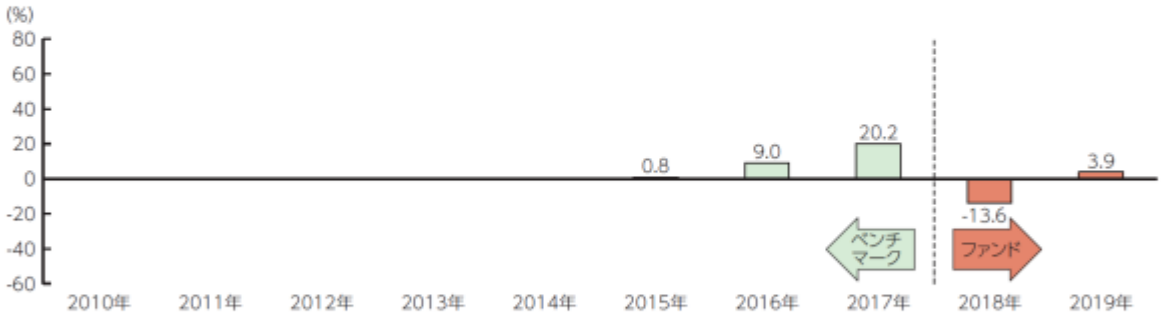
## 主要な資産の状況

組入上位10銘柄

| | 銘柄名 | 業種 | 投資比率(%) |
|---|---|---|---|
| 1 | 日本たばこ産業 | 食料品 | 3.32 |
| 2 | キヤノン | 電気機器 | 3.16 |
| 3 | 積水ハウス | 建設業 | 2.94 |
| 4 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 2.82 |
| 5 | ブリヂストン | ゴム製品 | 2.80 |
| 6 | りそなホールディングス | 銀行業 | 2.59 |
| 7 | NTTドコモ | 情報・通信業 | 2.58 |
| 8 | ローソン | 小売業 | 2.50 |
| 9 | 東京海上ホールディングス | 保険業 | 2.40 |
| 10 | ソニーフィナンシャルホールディングス | 保険業 | 2.35 |

※投資比率は対純資産総額比

## 年間収益率の推移(暦年ベース)




※2017年まではベンチマークの年間収益率です。
※当ファンドのベンチマークはS&P/JPX配当貴族指数(トータルリターン)です。なお、同インデックスは基準日(2006年7月31日)を100として、2015年12月22日から算出しているため、算出開始日以降の収益率を表示しています。
※2018年は設定日(2018年6月26日)から12月末まで、2019年は1月末までの収益率を表示しています。
※ベンチマークの情報はあくまでも参考情報であり、当ファンドの運用実績ではありません。

※最新の運用状況は委託会社のホームページでご確認することができます。
※ファンドの運用実績はあくまで過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 第３【ファンドの経理状況】

**原届出書の「第二部ファンド情報、第３ファンドの経理状況　１財務諸表」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。**

**＜更新・訂正後＞**

### １【財務諸表】

**（１）　当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の３及び第57条の２の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。**
**なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。**

**（２）　当ファンドは、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第１期中間計算期間（2018年６月26日から2018年12月25日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。**

**中間財務諸表**

**明治安田クオリティ日本株オープン**

**（1）【中間貸借対照表】**

| | 第１期中間計算期間末<br>（2018年12月25日現在） |
|---|---|
| 科目 | 金額（円） |
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 金銭信託 | 28,967,455 |
| 株式 | 1,640,579,350 |
| 未収配当金 | 847,000 |
| 流動資産合計 | **1,670,393,805** |
| 資産合計 | **1,670,393,805** |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 未払解約金 | 6,681,472 |
| 未払受託者報酬 | 276,681 |
| 未払委託者報酬 | 11,528,144 |
| その他未払費用 | 49,072 |
| 流動負債合計 | **18,535,369** |
| 負債合計 | **18,535,369** |
| 純資産の部 | |
| 元本等 | |
| 元本 | **2,015,950,684** |
| 剰余金 | |
| 中間剰余金又は中間欠損金（△） | △364,092,248 |
| （分配準備積立金） | - |
| 元本等合計 | **1,651,858,436** |
| 純資産合計 | **1,651,858,436** |
| 負債純資産合計 | **1,670,393,805** |

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

| | 第１期中間計算期間<br>（自　2018年６月26日<br>至　2018年12月25日） |
|---|---|
| 科目 | 金額（円） |
| **営業収益** | |
| 受取配当金 | 23,396,510 |
| 有価証券売買等損益 | △361,527,114 |
| **営業収益合計** | **△338,130,604** |
| **営業費用** | |
| 受託者報酬 | 276,681 |
| 委託者報酬 | 11,528,144 |
| その他費用 | 94,201 |
| **営業費用合計** | **11,899,026** |
| **営業利益又は営業損失（△）** | **△350,029,630** |
| **経常利益又は経常損失（△）** | **△350,029,630** |
| **中間純利益又は中間純損失（△）** | **△350,029,630** |
| **一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は<br>一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）** | **△1,862,523** |
| **期首剰余金又は期首欠損金（△）** | **-** |
| **剰余金増加額又は欠損金減少額** | **219,801** |
| 中間一部解約に伴う剰余金増加額又は<br>欠損金減少額 | 219,801 |
| **剰余金減少額又は欠損金増加額** | **16,144,942** |
| 中間追加信託に伴う剰余金減少額又は<br>欠損金増加額 | 16,144,942 |
| **分配金** | **-** |
| **中間剰余金又は中間欠損金（△）** | **△364,092,248** |

**（３）【中間注記表】**

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

| | |
|---|---|
| １．運用資産の評価基準及び評価方法 | 株式<br>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 |
| ２．費用・収益の計上基準 | （１）受取配当金の計上基準<br>受取配当金は原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。<br>（２）有価証券売買等損益の計上基準<br>約定日基準で計上しております。 |
| ３．その他 | 当ファンドの計算期間は、2018年６月26日（設定日）から2019年６月５日までとなっております。<br>なお、当該中間計算期間は、2018年６月26日から2018年12月25日までとなっております。 |

（中間貸借対照表に関する注記）

| 第１期中間計算期間末<br>（2018年12月25日現在） | |
|---|---|
| １．中間計算期間の末日における受益権の総数 | |
| | 2,015,950,684口 |
| ２．投資信託財産計算規則第55条の６第１項第10号に規定する額 | |
| 元本の欠損 | 364,092,248円 |
| ３．中間計算期間の末日における１単位当たりの純資産の額 | |
| １口当たり純資産額 | 0.8194円 |
| （10,000口当たり純資産額） | (8,194円) |

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

第１期中間計算期間（自　2018年６月26日　至　2018年12月25日）

該当事項はございません。

（金融商品に関する注記）

１．金融商品の時価等に関する事項

| | 第１期中間計算期間<br>（自　2018年６月26日<br>至　2018年12月25日） |
|---|---|
| １．貸借対照表計上額、時価及び差額 | 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| ２．時価の算定方法 | 株式<br>「重要な会計方針に係る事項に関する注記」に記載しております。<br>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務<br>これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。 |

（その他の注記）

１．元本の移動

| | 第１期中間計算期間<br>（自　2018年６月26日<br>至　2018年12月25日） |
|---|---|
| 期首元本額 | 862,771,816円 |
| 期中追加設定元本額 | 1,194,156,646円 |
| 期中一部解約元本額 | 40,977,778円 |

２．デリバティブ取引関係

第１期中間計算期間末（2018年12月25日現在）

該当事項はございません。

**原届出書の「第二部ファンド情報、第３ファンドの経理状況　２ファンドの現況」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。**

**２【ファンドの現況】**
**【純資産額計算書】**
**＜更新・訂正後＞**
**（2019年1月31日現在）**

| | |
|---|---|
| Ⅰ　資産総額 | 1,858,292,503 円 |
| Ⅱ　負債総額 | 2,946,325 円 |
| Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ） | 1,855,346,178 円 |
| Ⅳ　発行済口数 | 2,065,784,793 口 |
| Ⅴ　1口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ） | 0.8981 円 |
| （1万口当たり純資産額） | （8,981 円） |

# 第三部【委託会社等の情報】

## 第１【委託会社等の概況】

### ２【事業の内容及び営業の概況】

＜訂正前＞

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）およびその受益権の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

2018年3月30日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託は以下の通りです（ただし、親投資信託を除きます。）。

| 種　類 | 本数 | 純資産総額 |
|---|---|---|
| 追加型株式投資信託 | 152 本 | 1,405,747,940,016 円 |
| 単位型株式投資信託 | 2 本 | 3,403,285,528 円 |
| 合　計 | 154 本 | 1,409,151,225,544 円 |

＜訂正後＞

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）およびその受益権の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

2019年1月31日現在、委託会社が運用の指図を行っている証券投資信託は以下の通りです（ただし、親投資信託を除きます。）。

| 種　類 | 本数 | 純資産総額 |
|---|---|---|
| 追加型株式投資信託 | 150 本 | 1,543,084,351,519 円 |
| 単位型株式投資信託 | 3 本 | 11,331,389,403 円 |
| 合　計 | 153 本 | 1,554,415,740,922 円 |

## ３【委託会社等の経理状況】

原届出書の「第三部委託会社等の情報、第１委託会社等の概況３委託会社等の経理状況」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

＜更新・訂正後＞

１．財務諸表の作成方法について

委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

２．監査証明について

委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

## (1) 【貸借対照表】

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（2017年3月31日） | 当事業年度<br>（2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金・預金 | 8,899,403 | 8,848,374 |
| 前払費用 | 124,738 | 120,943 |
| 未収入金 | 33 | - |
| 未収委託者報酬 | 763,283 | 1,195,215 |
| 未収運用受託報酬 | 125,850 | 121,276 |
| 未収投資助言報酬 | 213,802 | 241,655 |
| 繰延税金資産 | - | 57,561 |
| その他 | 25 | 171 |
| 流動資産合計 | 10,127,137 | 10,585,198 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | ※1 70,202 | ※1 183,994 |
| 器具備品 | ※1 63,906 | ※1 171,123 |
| 建設仮勘定 | 7,909 | 258 |
| 有形固定資産合計 | 142,018 | 355,375 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 44,445 | 72,467 |
| 電話加入権 | 6,662 | 6,662 |
| その他 | 49 | 26 |
| ソフトウェア仮勘定 | 8,000 | - |
| 無形固定資産合計 | 59,157 | 79,156 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,153 | - |
| 長期差入保証金 | 109,020 | 181,690 |
| 長期前払費用 | 1,315 | 5,381 |
| 前払年金費用 | 48,679 | 65,364 |
| 投資その他の資産合計 | 160,168 | 252,436 |
| 固定資産合計 | 361,344 | 686,968 |
| 資産合計 | 10,488,482 | 11,272,167 |

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（2017年3月31日） | 当事業年度<br>（2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 預り金 | 40,627 | 66,282 |
| 未払金 | 473,405 | 947,328 |
| 未払収益分配金 | 124 | 132 |
| 未払償還金 | 7,137 | 7,137 |
| 未払手数料 | 260,130 | 411,569 |
| その他未払金 | 206,013 | 528,489 |
| 未払費用 | 28,001 | 34,681 |
| 未払法人税等 | 261,995 | 237,896 |
| 未払消費税等 | 48,690 | 59,288 |
| 賞与引当金 | 106,594 | 111,465 |
| 流動負債合計 | 959,315 | 1,456,943 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 20,955 | 33,978 |
| 資産除去債務 | 28,843 | 58,490 |
| 固定負債合計 | 49,799 | 92,469 |
| 負債合計 | 1,009,114 | 1,549,412 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 660,443 | 660,443 |
| その他資本剰余金 | 2,854,339 | 2,854,339 |
| 資本剰余金合計 | 3,514,783 | 3,514,783 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 83,040 | 83,040 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 3,092,001 | 3,092,001 |
| 繰越利益剰余金 | 1,789,505 | 2,032,929 |
| 利益剰余金合計 | 4,964,546 | 5,207,971 |
| 株主資本合計 | 9,479,330 | 9,722,754 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 36 | - |
| 評価・換算差額等合計 | 36 | - |
| 純資産合計 | 9,479,367 | 9,722,754 |
| 負債・純資産合計 | 10,488,482 | 11,272,167 |

## (2) 【損益計算書】

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（自 2016年4月1日<br>至 2017年3月31日） | 当事業年度<br>（自 2017年4月1日<br>至 2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 営業収益 | | |
| 委託者報酬 | 4,516,577 | 4,855,026 |
| 受入手数料 | 6,587 | 5,274 |
| 運用受託報酬 | 1,682,876 | 1,999,074 |
| 投資助言報酬 | 394,935 | 435,317 |
| 営業収益合計 | 6,600,976 | 7,294,693 |
| 営業費用 | | |
| 支払手数料 | 1,686,614 | 1,675,008 |
| 広告宣伝費 | 41,134 | 70,117 |
| 公告費 | 258 | - |
| 調査費 | 1,111,296 | 1,378,602 |
| 調査費 | 511,550 | 574,087 |
| 委託調査費 | 599,746 | 804,514 |
| 委託計算費 | 329,669 | 341,672 |
| 営業雑経費 | 90,520 | 98,265 |
| 通信費 | 11,759 | 14,032 |
| 印刷費 | 65,240 | 70,234 |
| 協会費 | 7,911 | 8,466 |
| 諸会費 | 5,461 | 5,531 |
| 営業雑費 | 147 | 0 |
| 営業費用合計 | 3,259,493 | 3,563,665 |
| 一般管理費 | | |
| 給料 | 1,413,977 | 1,504,298 |
| 役員報酬 | 62,291 | 64,993 |
| 給料・手当 | 1,096,641 | 1,163,033 |
| 賞与 | 255,044 | 276,272 |
| その他報酬 | 2,281 | - |
| 賞与引当金繰入 | 106,594 | 111,465 |
| 法定福利費 | 219,445 | 229,143 |
| 福利厚生費 | 33,700 | 37,638 |
| 交際費 | 1,863 | 1,309 |
| 寄付金 | 200 | 200 |
| 旅費交通費 | 28,955 | 29,907 |
| 租税公課 | 58,480 | 61,257 |
| 不動産賃借料 | 118,968 | 157,238 |
| 退職給付費用 | 43,073 | 43,818 |
| 固定資産減価償却費 | 59,320 | 75,829 |
| 事務委託費 | 115,835 | 97,645 |
| 諸経費 | 77,674 | 78,926 |
| 一般管理費合計 | 2,280,370 | 2,428,681 |
| 営業利益 | 1,061,112 | 1,302,346 |

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（自　2016年4月1日<br>至　2017年3月31日） | 当事業年度<br>（自　2017年4月1日<br>至　2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 403 | 179 |
| 受取配当金 | 2 | 9 |
| 投資有価証券売却益 | - | 98 |
| 投資有価証券償還益 | 0 | - |
| 償還金等時効完成分 | 28 | 28 |
| 保険契約返戻金・配当金 | ※1 1,097 | ※1 1,164 |
| 為替差益 | 127 | 631 |
| 雑益 | 691 | 663 |
| 営業外収益合計 | 2,350 | 2,775 |
| 営業外費用 | | |
| 投資有価証券償還損 | 372 | - |
| 雑損失 | 163 | 663 |
| 時効成立後支払償還金 | - | 1,564 |
| 営業外費用合計 | 535 | 2,228 |
| 経常利益 | 1,062,927 | 1,302,892 |
| 特別利益 | - | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | ※2 0 | ※2 10,559 |
| 移設関連費用 | - | 30,245 |
| 特別損失合計 | 0 | 40,805 |
| 税引前当期純利益 | 1,062,927 | 1,262,087 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 325,809 | 372,601 |
| 法人税等調整額 | 10,187 | △ 44,522 |
| 法人税等合計 | 335,997 | 328,078 |
| 当期純利益 | 726,929 | 934,008 |

### (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度　（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）　（単位：千円）

| | 株主資本 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 1,000,000 | 660,443 | 2,854,339 | 3,514,783 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 当期純利益 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | - | - |
| 当期末残高 | 1,000,000 | 660,443 | 2,854,339 | 3,514,783 |

| | 株主資本 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 利益剰余金 | | | | 株主資本合計 |
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | |
| | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 83,040 | 3,092,001 | 1,924,067 | 5,099,109 | 9,613,892 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △861,492 | △861,492 | △861,492 |
| 当期純利益 | | | 726,929 | 726,929 | 726,929 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | △134,562 | △134,562 | △134,562 |
| 当期末残高 | 83,040 | 3,092,001 | 1,789,505 | 4,964,546 | 9,479,330 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---|---|---|---|
| | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | △74 | △74 | 9,613,818 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | △861,492 |
| 当期純利益 | | | 726,929 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 111 | 111 | 111 |
| 当期変動額合計 | 111 | 111 | △134,451 |
| 当期末残高 | 36 | 36 | 9,479,367 |

当事業年度　（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）　（単位：千円）

| | 株主資本 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 1,000,000 | 660,443 | 2,854,339 | 3,514,783 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 当期純利益 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 当期変動額合計 | - | - | - | - |
| 当期末残高 | 1,000,000 | 660,443 | 2,854,339 | 3,514,783 |

| | 株主資本 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 利益剰余金 | | | | 株主資本合計 |
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | |
| | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 83,040 | 3,092,001 | 1,789,505 | 4,964,546 | 9,479,330 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △690,584 | △690,584 | △690,584 |
| 当期純利益 | | | 934,008 | 934,008 | 934,008 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | △243,424 | △243,424 | △243,424 |
| 当期末残高 | 83,040 | 3,092,001 | 2,032,929 | 5,207,971 | 9,722,754 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---|---|---|---|
| | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 36 | 36 | 9,479,367 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | △690,584 |
| 当期純利益 | | | 934,008 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △36 | △36 | △36 |
| 当期変動額合計 | △36 | △36 | 243,387 |
| 当期末残高 | - | - | 9,722,754 |

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
その他有価証券
時価のあるもの
決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

2. 固定資産の減価償却方法
(1) 有形固定資産
定額法
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
建物　6年～18年
器具備品　3年～20年
(2) 無形固定資産
定額法
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

**3. 引当金の計上基準**

**（1）賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、当事業年度に見合う支給見込額に基づき計上しております。**

**（2）退職給付引当金は、従業員に対する退職金の支払に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。**

**4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項**

**消費税等の会計処理方法**

**消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。**

（貸借対照表関係）

※1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。

| | 前事業年度<br>（2017年3月31日） | 当事業年度<br>（2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 建物 | 27,155千円 | 33,110千円 |
| 器具備品 | 282,865千円 | 233,830千円 |

（損益計算書関係）

※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。

| | 前事業年度<br>（自　2016年4月1日<br>至　2017年3月31日） | 当事業年度<br>（自　2017年4月1日<br>至　2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 保険契約返戻金・配当金 | 1,097千円 | 1,164千円 |

※2 前事業年度　（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）
固定資産除却損の内容は、少額の為記載を省略しております。

当事業年度　（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）
固定資産除却損の内容は、主に建物付属設備6,108千円、システム関係3,084千円、什器備品1,362千円であります。

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度　（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）

1.発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当事業年度末 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 18,887株 | - | - | 18,887株 |

2.自己株式に関する事項
該当事項はありません。

3.新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4.配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2016年6月30日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 861,492,731円 | 45,613円00銭 | 2016年3月31日 | 2016年6月30日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2017年6月28日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 690,584,268円 | 36,564円00銭 | 2017年3月31日 | 2017年6月28日 |

当事業年度　（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）

1.発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当事業年度末 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 18,887株 | - | - | 18,887株 |

2.自己株式に関する事項
該当事項はありません。

3.新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4.配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2017年6月28日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 690,584,268円 | 36,564円00銭 | 2017年3月31日 | 2017年6月28日 |

（2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年6月27日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 933,999,924円 | 49,452円00銭 | 2018年3月31日 | 2018年6月27日 |

（リース取引関係）

該当事項はありません。

（金融商品関係）

1.金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用について財務内容の健全性を損なうことのないよう、主に安全性の高い金融資産で運用しております。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びに金融商品にかかるリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬、未収運用受託報酬は、主に当社が運用指図を行う信託財産より支弁され、当社は当該信託財産の内容を把握しており、当該営業債権の回収にかかるリスクは僅少であります。また、営業債権である未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されており、投資助言先ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、四半期ごとに回収可能性を把握する体制としております。

営業債務である未払手数料、並びにその他未払金は、１年以内の支払期日です。

2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度　（2017年3月31日）

| | 貸借対照表計上額<br>（千円） | 時価<br>（千円） | 差額<br>（千円） |
|---|---|---|---|
| （1）現金・預金 | 8,899,403 | 8,899,403 | - |
| （2）未収委託者報酬 | 763,283 | 763,283 | - |
| （3）未収運用受託報酬 | 125,850 | 125,850 | - |
| （4）未収投資助言報酬 | 213,802 | 213,802 | - |
| （5）投資有価証券 | | | |
| その他有価証券 | 1,153 | 1,153 | - |
| （6）長期差入保証金 | 109,020 | 107,974 | △1,045 |
| 資産計 | 10,112,513 | 10,111,468 | △1,045 |
| （1）未払手数料 | 260,130 | 260,130 | - |
| （2）その他未払金 | 206,013 | 206,013 | - |
| 負債計 | 466,143 | 466,143 | - |

当事業年度　（2018年3月31日）

| | 貸借対照表計上額<br>（千円） | 時価<br>（千円） | 差額<br>（千円） |
|---|---|---|---|
| （1）現金・預金 | 8,848,374 | 8,848,374 | - |
| （2）未収委託者報酬 | 1,195,215 | 1,195,215 | - |
| （3）未収運用受託報酬 | 121,276 | 121,276 | - |
| （4）未収投資助言報酬 | 241,655 | 241,655 | - |
| （5）投資有価証券 | | | |
| その他有価証券 | - | - | - |
| （6）長期差入保証金 | 181,690 | 181,208 | △481 |
| 資産計 | 10,588,211 | 10,587,730 | △481 |
| （1）未払手数料 | 411,569 | 411,569 | - |
| （2）その他未払金 | 528,489 | 528,489 | - |
| 負債計 | 940,058 | 940,058 | - |

（注1）金融商品の時価の算定方法

資産

（1）現金・預金、（2）未収委託者報酬、（3）未収運用受託報酬、（4）未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（5）投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

（6）長期差入保証金

長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しております。

負債

（1）未払手数料、（2）その他未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度　（2017年3月31日）

| | １年以内<br>（千円） | １年超<br>５年以内<br>（千円） | ５年超<br>１０年以内<br>（千円） | １０年超<br>（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 現金・預金 | 8,899,051 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 763,283 | - | - | - |
| 未収運用受託報酬 | 125,850 | - | - | - |
| 未収投資助言報酬 | 213,802 | - | - | - |
| 投資有価証券<br>その他有価証券のうち<br>満期のあるもの | - | 115 | - | - |
| 長期差入保証金 | - | - | 109,020 | - |
| 合計 | 10,001,987 | 115 | 109,020 | - |

当事業年度　（2018年3月31日）

| | １年以内<br>（千円） | １年超<br>５年以内<br>（千円） | ５年超<br>１０年以内<br>（千円） | １０年超<br>（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 現金・預金 | 8,848,087 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 1,195,215 | - | - | - |
| 未収運用受託報酬 | 121,276 | - | - | - |
| 未収投資助言報酬 | 241,655 | - | - | - |
| 投資有価証券<br>その他有価証券のうち<br>満期のあるもの | - | - | - | - |
| 長期差入保証金 | - | - | 181,690 | - |
| 合計 | 10,406,234 | - | 181,690 | - |

（有価証券関係）

1.その他有価証券

前事業年度　（2017年3月31日）

| 区分 | 貸借対照表計上額<br>（千円） | 取得原価<br>（千円） | 差額<br>（千円） |
|---|---|---|---|
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | | | |
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他(投資信託) | 1,153 | 1,100 | 53 |
| 小計 | 1,153 | 1,100 | 53 |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | | | |
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他(投資信託) | - | - | - |
| 小計 | - | - | - |
| 合計 | 1,153 | 1,100 | 53 |

当事業年度　（2018年3月31日）

該当事項はありません。

2.事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）

| 区分 | 売却額 | 売却益の合計額 | 売却損の合計額 |
|---|---|---|---|
| その他(投資信託) | 1,198 | 98 | - |

3.減損処理を行った有価証券
該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）
当社はデリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

（退職給付関係）
前事業年度（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）
1. 採用している退職給付制度の概要
当社は、確定給付型の制度として確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を併用しております。
なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金（前払年金費用）及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度
(1) 簡便法を適用した制度の、前払年金費用の期首残高と期末残高の調整表

| | | |
|---|---|---|
| 前払年金費用の期首残高 | △13,563 | 千円 |
| 退職給付費用 | 43,073 | 〃 |
| 退職給付の支払額 | - | 〃 |
| 制度への拠出額 | △78,188 | 〃 |
| 前払年金費用の期末残高 | △48,679 | 〃 |

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された前払年金費用の調整表

| | | |
|---|---|---|
| 積立型制度の退職給付債務 | 552,011 | 千円 |
| 年金資産 | △600,963 | 〃 |
| | △48,952 | 〃 |
| 非積立型制度の退職給付債務 | 273 | 〃 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | △48,679 | 〃 |
| | | |
| 前払年金費用 | △48,679 | 〃 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | △48,679 | 〃 |

(3) 退職給付費用

| | | |
|---|---|---|
| 簡便法で計算した退職給付費用 | 43,073 | 千円 |

当事業年度（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）
1. 採用している退職給付制度の概要
当社は、確定給付型の制度として確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を併用しております。
なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金（前払年金費用）及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度
(1) 簡便法を適用した制度の、前払年金費用の期首残高と期末残高の調整表

| | | |
|---|---|---|
| 前払年金費用の期首残高 | △48,679 | 千円 |
| 退職給付費用 | 43,818 | 〃 |
| 退職給付の支払額 | - | 〃 |
| 制度への拠出額 | △60,503 | 〃 |
| 前払年金費用の期末残高 | △65,364 | 〃 |

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された前払年金費用の調整表

| | | |
|---|---|---|
| 積立型制度の退職給付債務 | 618,696 | 千円 |
| 年金資産 | △684,333 | 〃 |
| | △65,637 | 〃 |
| 非積立型制度の退職給付債務 | 273 | 〃 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | △65,364 | 〃 |

| | | |
|---|---|---|
| 前払年金費用 | △65,364 | 〃 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | △65,364 | 〃 |

（3）退職給付費用

| | | |
|---|---|---|
| 簡便法で計算した退職給付費用 | 43,818 | 千円 |

（ストック・オプション等関係）
該当事項はありません。

（税効果会計関係）
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

| | 前事業年度（2017年3月31日） | | 当事業年度（2018年3月31日） | |
|---|---|---|---|---|
| 繰延税金資産 | | | | |
| 賞与引当金繰入限度超過額 | 32,894 | 千円 | 34,130 | 千円 |
| 未払事業税 | 17,533 | 〃 | 16,621 | 〃 |
| 資産除去債務 | 8,831 | 〃 | 17,909 | 〃 |
| その他 | 11,698 | 〃 | 8,629 | 〃 |
| 繰延税金資産小計 | 70,959 | 〃 | 77,291 | 〃 |
| 評価性引当額 | △70,959 | 〃 | △19,484 | 〃 |
| 繰延税金資産合計 | - | 〃 | 57,806 | 〃 |
| 繰延税金負債 | | | | |
| その他有価証券評価差額金 | △16 | 〃 | - | 〃 |
| 資産除去費用 | △6,033 | 〃 | △14,208 | 〃 |
| 前払年金費用 | △14,905 | 〃 | △20,014 | 〃 |
| 繰延税金負債合計 | △20,955 | 〃 | △34,222 | 〃 |
| 繰延税金負債の純額 | △20,955 | 〃 | - | 〃 |
| 繰延税金資産の純額 | - | 〃 | 23,583 | 〃 |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

| | 前事業年度（2017年3月31日） | | 当事業年度（2018年3月31日） | |
|---|---|---|---|---|
| 法定実効税率 | - | % | 30.86 | % |
| （調整） | | | | |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 | - | 〃 | 0.02 | 〃 |
| 評価性引当額の増減 | - | 〃 | △4.08 | 〃 |
| 雇用拡大促進税制の特別控除 | - | 〃 | △1.03 | 〃 |
| 住民税均等割 | - | 〃 | 0.18 | 〃 |
| その他 | - | 〃 | 0.04 | 〃 |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | - | % | 25.99 | % |

(注)　前事業年度は、法定実効税率と税効果適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しています。

（企業結合等関係）
該当事項はありません。

（資産除去債務関係）
資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの
(1)当該資産除去債務の概要
本社施設の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

(2)当該資産除去債務の金額の算定方法
使用見込期間を主たる資産の取得から耐用年数満了時（１５年）としており、割引率は1.314%を適用しております。
またオフィス増床に伴う原状回復費用増加額は29,266千円であり、使用見込期間を既存資産の耐用年数満了時とし、割引率は0.027%を適用しております。

(3)当該資産除去債務の総額の増減

| | 前事業年度<br>（自　2016年4月1日<br>至　2017年3月31日） | 当事業年度<br>（自　2017年4月1日<br>至　2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 期首残高 | 28,469　千円 | 28,843　千円 |
| 有形固定資産の取得に伴う増加額 | -　〃 | 29,266　〃 |
| 時の経過による調整額 | 374　〃 | 380　〃 |
| 期末残高 | 28,843　千円 | 58,490　千円 |

（持分法損益等）
該当事項はありません。

（賃貸等不動産関係）
該当事項はありません。

（セグメント情報等）
[セグメント情報]
当社の事業は、資産運用サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]
前事業年度　（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）
1.製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

| | 投資信託<br>（運用業務） | 投資信託<br>（販売業務） | 投資顧問<br>（投資一任） | 投資顧問<br>（投資助言） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 外部顧客への売上高 | 4,516,577 | 6,587 | 1,682,876 | 394,935 | 6,600,976 |

2.地域ごとの情報
(1) 売上高
本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。
(2) 有形固定資産
本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報
外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度　（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）
1.製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

| | 投資信託<br>（運用業務） | 投資信託<br>（販売業務） | 投資顧問<br>（投資一任） | 投資顧問<br>（投資助言） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 外部顧客への売上高 | 4,855,026 | 5,274 | 1,999,074 | 435,317 | 7,294,693 |

2.地域ごとの情報
(1) 売上高
本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。
(2) 有形固定資産
本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報
外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]
該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報]
該当事項はありません。

**[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]**

**該当事項はありません。**

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社の親会社及び法人主要株主等

前事業年度　（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は出資金（百万円） | 事業の内容 | 議決権等の所有（被所有）割合（%） | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額（千円） | 科目 | 期末残高（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 親会社 | 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区 | 310,000 | 生命保険業 | （被所有）直接 92.86 | 資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売、及び役員の兼任 | 投資助言報酬 | 361,136 | 未収投資助言報酬 | 197,202 |

当事業年度　（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は出資金（百万円） | 事業の内容 | 議決権等の所有（被所有）割合（%） | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額（千円） | 科目 | 期末残高（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 親会社 | 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区 | 260,000 | 生命保険業 | （被所有）直接 92.86 | 資産運用サービスの提供、当社投信商品の販売、及び役員の兼任 | 投資助言報酬 | 396,472 | 未収投資助言報酬 | 221,851 |
| | | | | | | | 支払手数料 | 351,238 | 未払手数料 | 114,770 |

取引条件ないし取引条件の決定方針等

①投資助言報酬並びに支払手数料については、契約に基づき決定しております。

（注）上記取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

なお、前事業年度の支払手数料については金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

明治安田生命保険相互会社（非上場）

（1株当たり情報）

| | 前事業年度（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日） | 当事業年度（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 501,899円03銭 | 514,785円55銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 38,488円37銭 | 49,452円47銭 |

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

| | 前事業年度（2017年3月31日） | 当事業年度（2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 貸借対照表の純資産の部の合計額（千円） | 9,479,367 | 9,722,754 |
| 普通株式に係る純資産額（千円） | 9,479,367 | 9,722,754 |
| 差額の主な内訳 | - | - |
| 普通株式の発行済株式数（株） | 18,887 | 18,887 |
| 普通株式の自己株式数（株） | - | - |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数（株） | 18,887 | 18,887 |

1株当たり当期純利益金額

| | 前事業年度（自　2016年4月1日　至　2017年3月31日） | 当事業年度（自　2017年4月1日　至　2018年3月31日） |
|---|---|---|
| 当期純利益（千円） | 726,929 | 934,008 |

| | | |
|---|---|---|
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | - | - |
| 普通株式に係る当期純利益（千円） | 726,929 | 934,008 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 18,887 | 18,887 |

（重要な後発事象）
該当事項はありません。

# 委託会社の最近中間会計期間における経理の状況

## 1.中間財務諸表の作成方法について

委託会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条・第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

## 2.監査証明について

委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人の中間監査を受けております。

## 中間財務諸表等

### 中間財務諸表

#### ①中間貸借対照表

（単位：千円）

| | 当中間会計期間末<br>（2018年9月30日） |
|---|---|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金・預金 | 7,909,737 |
| 未収委託者報酬 | 1,649,537 |
| 未収運用受託報酬 | 396,767 |
| 未収投資助言報酬 | 279,664 |
| その他 | 145,324 |
| 流動資産合計 | 10,381,030 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 建物 | ※1 175,540 |
| 器具備品 | ※1 149,807 |
| 有形固定資産合計 | 325,347 |
| 無形固定資産 | |
| ソフトウェア | 62,408 |
| 電話加入権 | 6,662 |
| その他 | 15 |
| ソフトウェア仮勘定 | 3,650 |
| 無形固定資産合計 | 72,735 |
| 投資その他の資産 | |
| 投資有価証券 | 1,992 |
| 長期差入保証金 | 181,690 |
| 長期前払費用 | 4,345 |
| 前払年金費用 | 73,225 |
| 繰延税金資産 | 30,472 |
| 投資その他の資産合計 | 291,727 |
| 固定資産合計 | 689,810 |
| 資産合計 | 11,070,841 |

| | 当中間会計期間末<br>（2018年9月30日） |
|---|---|
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 未払償還金 | 7,137 |
| 未払手数料 | 630,161 |
| 未払法人税等 | 325,746 |
| 賞与引当金 | 118,219 |
| その他 | ※2 496,641 |
| 流動負債合計 | 1,577,906 |
| 固定負債 | |
| 資産除去債務 | 58,686 |
| 固定負債合計 | 58,686 |
| 負債合計 | 1,636,593 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 1,000,000 |
| 資本剰余金 | |
| 資本準備金 | 660,443 |
| その他資本剰余金 | 2,854,339 |
| 資本剰余金合計 | 3,514,783 |
| 利益剰余金 | |
| 利益準備金 | 83,040 |
| その他利益剰余金 | |
| 別途積立金 | 3,092,001 |
| 繰越利益剰余金 | 1,744,427 |
| 利益剰余金合計 | 4,919,469 |
| 株主資本合計 | 9,434,252 |
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | △4 |
| 評価・換算差額等合計 | △4 |
| 純資産合計 | 9,434,247 |
| 負債純資産合計 | 11,070,841 |

②中間損益計算書

（単位：千円）

| | 当中間会計期間<br>（自　2018年4月 1日<br>至　2018年9月30日） |
|---|---|
| 営業収益 | |
| 　委託者報酬 | 3,182,104 |
| 　受入手数料 | 2,375 |
| 　運用受託報酬 | 924,396 |
| 　投資助言報酬 | 300,736 |
| 営業収益合計 | 4,409,611 |
| 営業費用 | |
| 　支払手数料 | 1,115,521 |
| 　その他営業費用 | 1,054,974 |
| 営業費用合計 | 2,170,495 |
| 一般管理費 | ※1 1,308,518 |
| 営業利益 | 930,597 |
| 営業外収益 | ※2 1,665 |
| 営業外費用 | ※3 49 |
| 経常利益 | 932,214 |
| 特別利益 | - |
| 特別損失 | - |
| 税引前中間純利益 | 932,214 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 293,603 |
| 法人税等調整額 | △6,886 |
| 法人税等合計 | 286,716 |
| 中間純利益 | 645,497 |

③中間株主資本等変動計算書
当中間会計期間　（自　2018年4月1日　至　2018年9月30日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 1,000,000 | 660,443 | 2,854,339 | 3,514,783 |
| 当中間期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 中間純利益 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | | | | |
| 当中間期変動額合計 | - | - | - | - |
| 当中間期末残高 | 1,000,000 | 660,443 | 2,854,339 | 3,514,783 |

| | 株主資本 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 利益剰余金 | | | | 株主資本合計 |
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | |
| | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 83,040 | 3,092,001 | 2,032,929 | 5,207,971 | 9,722,754 |
| 当中間期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △933,999 | △933,999 | △933,999 |
| 中間純利益 | | | 645,497 | 645,497 | 645,497 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | | | | | |
| 当中間期変動額合計 | - | - | △288,501 | △288,501 | △288,501 |
| 当中間期末残高 | 83,040 | 3,092,001 | 1,744,427 | 4,919,469 | 9,434,252 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---|---|---|---|
| | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | - | - | 9,722,754 |
| 当中間期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | △933,999 |
| 中間純利益 | | | 645,497 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） | △4 | △4 | △4 |
| 当中間期変動額合計 | △4 | △4 | △288,506 |
| 当中間期末残高 | △4 | △4 | 9,434,247 |

[注記事項]

（重要な会計方針）

| 当中間会計期間<br>（自　2018年4月 1日<br>至　2018年9月30日） |
|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法<br>その他有価証券<br>時価のあるもの<br>中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）<br><br>2. 固定資産の減価償却方法<br>(1)有形固定資産<br>定額法<br>なお、主な耐用年数は次のとおりであります。<br>建物　　6年～18年<br>器具備品　3年～20年<br>(2)無形固定資産<br>定額法<br>なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。<br><br>3. 引当金の計上基準<br>(1)賞与引当金は、従業員賞与の支給に充てるため、当中間会計期間に見合う支給見込額に基づき計上しております。<br>(2)退職給付引当金は、従業員に対する退職金の支払に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を、簡便法により計上しております。<br><br>4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項<br>消費税等の会計処理方法<br>消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。 |

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年2月16日）等を当中間会計期間の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

（中間貸借対照表関係）

| 当中間会計期間末<br>（2018年9月30日） | |
|---|---|
| ※1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。 | |
| 建物 | 41,988千円 |
| 器具備品 | 257,206千円 |
| ※2 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。 | |

（中間損益計算書関係）

当中間会計期間
（自　2018年4月 1日
至　2018年9月30日）

※1 当中間会計期間末の減価償却実施額は次のとおりであります。

| | |
|---|---|
| 有形固定資産 | 32,254千円 |
| 無形固定資産 | 10,550千円 |

※2 営業外収益のうち主なもの

| | |
|---|---|
| 保険契約返戻金・配当金 | 1,332千円 |

※3 営業外費用のうち主なもの

| | |
|---|---|
| 為替差損 | 48千円 |

（中間株主資本等変動計算書関係）

当中間会計期間
（自　2018年4月 1日
至　2018年9月30日）

1. 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当中間会計期間末 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 18,887株 | － | － | 18,887株 |

2. 自己株式に関する事項
該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4. 配当に関する事項
(1)配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2018年6月27日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 933,999,924円 | 49,452円00銭 | 2018年3月31日 | 2018年6月27日 |

(2)基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの
該当事項はありません。

（リース取引関係）
オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料
（単位：千円）

| | 当中間会計期間<br>（自　2018年4月 1日<br>至　2018年9月30日） |
|---|---|
| 1年内 | 8,789 |
| 1年超 | 24,902 |
| 合計 | 33,691 |

(金融商品関係)

金融商品の時価等に関する事項

2018年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

| | 中間貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|---|---|---|---|
| (1)現金・預金 | 7,909,737 | 7,909,737 | - |
| (2)未収委託者報酬 | 1,649,537 | 1,649,537 | - |
| (3)未収運用受託報酬 | 396,767 | 396,767 | - |
| (4)未収投資助言報酬 | 279,664 | 279,664 | - |
| (5)投資有価証券 | | | |
| その他有価証券 | 1,992 | 1,992 | - |
| (6)長期差入保証金 | 181,690 | 180,137 | △1,553 |
| 資産計 | 10,419,389 | 10,417,836 | △1,553 |
| (1)未払手数料 | 630,161 | 630,161 | - |
| 負債計 | 630,161 | 630,161 | - |

（注1）金融商品の時価の算定方法

資産

(1)現金・預金、(2)未収委託者報酬、(3)未収運用受託報酬、(4)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5)投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6)長期差入保証金

長期差入保証金の時価の算定は、その将来キャッシュフローを、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(1)未払手数料

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(有価証券関係)

1.その他有価証券

当中間会計期間末（2018年9月30日）

（単位：千円）

| | 中間貸借対照表計上額 | 取得原価 | 差額 |
|---|---|---|---|
| 中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | | | |
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他(投資信託) | 1,002 | 1,000 | 2 |
| 小計 | 1,002 | 1,000 | 2 |
| 中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | | | |
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他(投資信託) | 990 | 1,000 | △9 |
| 小計 | 990 | 1,000 | △9 |
| 合計 | 1,992 | 2,000 | △7 |

2.当中間会計期間中に売却したその他有価証券

該当事項はありません。

3.減損処理を行った有価証券

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(資産除去債務関係)
当中間会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの
当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減は次のとおりであります。

| | |
|---|---|
| 期首残高 | 58,490千円 |
| 有形固定資産の取得に伴う増加額 | - |
| 時の経過による調整額 | 195千円 |
| 当中間会計期間末残高 | 58,686千円 |

(賃貸等不動産関係)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)
[セグメント情報]
当社の事業は、資産運用サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]
当中間会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
1.製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

| | 投資信託（運用業務） | 投資信託（販売業務） | 投資顧問（投資一任） | 投資顧問（投資助言） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 外部顧客への売上高 | 3,182,104 | 2,375 | 924,396 | 300,736 | 4,409,611 |

2.地域ごとの情報
(1) 営業収益
本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。
(2) 有形固定資産
本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報
外部顧客への営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]
該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報]
該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]
該当事項はありません。

**(1株当たり情報)**

| 当中間会計期間<br>（自　2018年4月 1日<br>至　2018年9月30日） | |
|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 499,510円12銭 |
| 1株当たり中間純利益金額 | 34,176円83銭 |

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 当中間会計期間<br>（自　2018年4月 1日<br>至　2018年9月30日） |
|---|---|
| 中間純利益金額(千円) | 645,497 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - |
| 普通株式に係る中間純利益金額（千円） | 645,497 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 18,887 |

**(重要な後発事象)**

該当事項はありません。

## 第２【その他の関係法人の概況】
### １【名称、資本金の額及び事業の内容】

＜訂正前＞

（１）受託会社

（2017年3月31日現在）

| ①名称 | ②資本金の額（百万円） | ③事業の内容 |
|---|---|---|
| 株式会社りそな銀行 | 279,928 | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。 |

（２）販売会社

（2017年3月31日現在）

| ①名称 | ②資本金の額（百万円） | ③事業の内容 |
|---|---|---|
| 明治安田生命保険相互会社※1 | 830,000※1 | 保険業法に基づき生命保険業を営んでいます。 |
| 三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社 | 40,500 | 「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |

※1 明治安田生命保険相互会社は当初申込期間のみ取扱い予定です。また、資本金の額は「基金」および「基金償却積立金」の合計額です。

＜訂正後＞

（１）受託会社

（2018年3月31日現在）

| ①名称 | ②資本金の額（百万円） | ③事業の内容 |
|---|---|---|
| 株式会社りそな銀行 | 279,928 | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。 |

（２）販売会社

（2018年3月31日現在）

| ①名称 | ②資本金の額（百万円） | ③事業の内容 |
|---|---|---|
| 明治安田生命保険相互会社※1 | 880,000※1 | 保険業法に基づき生命保険業を営んでいます。 |
| 三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社 | 40,500 | 「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |

※1 明治安田生命保険相互会社は当初申込期間のみ取扱い予定です。また、資本金の額は「基金」および「基金償却積立金」の合計額です。

## 3【資本関係】

〔参考情報：再信託受託会社の概要〕

①名称、資本金の額及び事業の内容

＜訂正前＞

名称　：　日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額　：　2017年3月31日現在、51,000百万円

事業の内容　：　銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

＜訂正後＞

名称　：　日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額　：　2018年3月31日現在、51,000百万円

事業の内容　：　銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

# 独立監査人の監査報告書

2018年６月８日

明治安田アセットマネジメント株式会社
　取締役会　御中

有限責任 あずさ監査法人

| | | |
|---|---|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 壁　谷　惠　嗣　㊞ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 蓑　輪　康　喜　㊞ |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている明治安田アセットマネジメント株式会社の2017年４月１日から2018年３月31日までの第32期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針、その他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、明治安田アセットマネジメント株式会社の2018年３月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

次へ

# 独立監査人の中間監査報告書

2018年11月9日

明治安田アセットマネジメント株式会社
　取締役会　御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　熊　木　幸　雄　㊞

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　蓑　輪　康　喜　㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている明治安田アセットマネジメント株式会社の2018年４月１日から2019年３月31日までの第33期事業年度の中間会計期間（2018年４月１日から2018年９月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任
　経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
　当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。
　中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。
　当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見
　当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、明治安田アセットマネジメント株式会社の2018年９月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2018年４月１日から2018年９月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係
　会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
　　2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

次へ

# 独立監査人の中間監査報告書

２０１９年2月１５日

明治安田アセットマネジメント株式会社
取　締　役　会　　御　中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　　蒲谷　剛史　㊞

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　　福村　寛　㊞

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている明治安田クオリティ日本株オープンの２０１８年６月２６日から２０１８年１２月２５日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、明治安田クオリティ日本株オープンの２０１８年１２月２５日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（２０１８年6月２６日から２０１８年１２月２５日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

明治安田アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

前へ